

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成25年7月分)

ご協力ありがとうございました。平成25年7分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 159社 回答 150社 回答率 94.3%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	28社 18.8% (10.6)	56社 37.6% (15.9)	45社 30.2% (45.0)	12社 8.1% (22.5)	8社 5.4% (6.0)	149社	18社 12.2% (9.4)	34社 23.1% (14.8)	49社 33.3% (31.5)	31社 21.1% (27.5)	15社 10.2% (16.8)	147社
売上高	29社 19.3% (10.5)	52社 34.7% (19.7)	48社 32.0% (42.8)	12社 8.0% (21.2)	9社 6.0% (5.9)	150社	18社 12.2% (9.3)	32社 21.6% (11.3)	50社 33.8% (28.0)	32社 21.6% (35.3)	16社 10.8% (16.0)	148社
在庫数量	5社 3.4% (2.7)	19社 13.0% (14.2)	82社 56.2% (58.1)	35社 24.0% (23.0)	5社 3.4% (2.0)	146社	11社 7.6% (11.0)	31社 21.5% (17.1)	62社 43.1% (42.5)	28社 19.4% (20.5)	12社 8.3% (8.9)	144社
販売単価	2社 1.4% (1.4)	18社 12.4% (8.1)	120社 82.8% (80.4)	4社 2.8% (10.1)	1社 0.7% (0.0)	145社	6社 4.2% (2.8)	28社 19.6% (18.1)	75社 52.4% (48.6)	29社 20.3% (25.0)	5社 3.5% (5.6)	143社
収益状況 (粗利)	14社 9.7% (4.7)	30社 20.7% (18.0)	69社 47.6% (54.0)	24社 16.6% (19.3)	8社 5.5% (4.0)	145社	16社 11.1% (5.4)	26社 18.1% (19.0)	56社 38.9% (35.4)	35社 24.3% (29.9)	11社 7.6% (10.2)	144社
稼働率 (生産・加工設備)	11社 9.1% (4.1)	39社 32.2% (17.2)	58社 47.9% (54.1)	8社 6.6% (18.0)	5社 4.1% (6.6)	121社	7社 5.9% (6.7)	23社 19.3% (10.8)	55社 46.2% (48.3)	24社 20.2% (25.8)	10社 8.4% (8.3)	119社
入出庫の トラック台数	13社 9.2% (2.1)	45社 31.7% (15.1)	64社 45.1% (52.1)	16社 11.3% (26.7)	4社 2.8% (4.1)	142社	9社 6.4% (3.5)	27社 19.3% (9.0)	68社 48.6% (43.8)	25社 17.9% (36.8)	11社 7.9% (6.9)	140社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	3社 2.1% (0.0)	22社 15.6% (5.0)	73社 51.8% (50.4)	24社 17.0% (24.5)	19社 13.5% (20.1)	141社	2社 1.5% (2.9)	68社 50.0% (41.3)	55社 40.4% (44.9)	11社 8.1% (9.4)	0社 0.0% (1.4)	136社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査（7月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 在庫単価が切り上がり、コイルセンター等は価格転嫁に必死の努力をしているが、ユーザー筋の理解が得られず苦慮している。ただし、トヨタの紐付価格上げ決着を機に潮目は変わってきた。メーカーの値上げ意志も固く、流通は価格転嫁を加速させている。
- ② 海外の状況、需要家の動向を今後みていく。浦安店売りについては、酸洗、冷延ともに価格に動きが出ている。
- ③ 前月比、稼働日が2日増となったが、売上、数量ともに比例減(絶対値は微増)となる。日新、淀鋼の冷延設備火災の影響で、店売り分野の供給不安が出てきている。トヨタ自動車関連の価格改定も、市況の底打ち感を補完するのではないかと。マクロ指標は確実に改善方向だが、足下の荷動きに大きな変化はなく、秋需に期待。ハウスメーカーやリフォーム業種は職人不足もあり、繁忙感があって消費増税がらみや設備投資減税を織り込んだ需要増も期待できる。ただ、在来工法の工務店、ゼネコンには施工能力不足感から、需要補足はハウスメーカーが大半を握っており、紐付きユーザーに流れてしまっているようだ。
- ④ 日新製鋼の火災の影響から一部歯抜け母材の引合いが多くなっている。母材の価格は上がっているが、定尺の価格に反映されないのが実態。自動車向け価格の値上げが発表され、価格に反映されるかが課題。
- ⑤ 底値が切り上がってきた。夏に掛けて建設需要も増えることが予想されており、雰囲気は良くなっている。

中板

- ① 在庫の大半は新価格に切り替わっており、採算は悪化。市況は底打ち感はあるが、更なる値上げについては盆明け以降の需要環境次第。

厚板

- ① 建材分野において、数量面では基調に特段大きな変化はないが、厚板供給面でのタイト感は徐々に現実的になってきている。予定された大型鉄骨案件が先納期ではあるが、少し動き出してきた。今後の需給の締まり具合から価格にも反映していくものと思われる。

— 舟型鋼

- ① 現場で職人不足が如実に出てきていて、どこかにしわ寄せが来る。安全に現場を動かすには、もう少し色々な面に配慮して欲しい。
- ② 例年、第2四半期から売上が回復するが、今年も同じだ。現在、耐震補強工事は一服しているが、代わりに上下水道の補強、拡張工事などが出てきており、年末や年度末に向かって賑やかになりそうだ。

IH形鋼

- ① メーカーの値上げを背景に、価格に関しては強含み傾向にある。今月は、荷動きも多少増加傾向にあったため、早急に価格転嫁を行う。

- ② メーカーの対応変化や需要増による在庫減少により、市況は上向いている。ただし、市況レベルはまだ低いので、この状況が長く続く必要がある。

異形棒鋼

- ① 店売りについては、7月は少し荷動きが良くなった。8月も同様の流れだと思う。価格は盆明けからだと思う。
- ② 7月は市況の底入れもあって、後半に荷動きは好転した。しかし、市況の調整安や値上げ玉の入荷もあって、粗利益率は更に低下しており、採算は引き続き悪い。流通にとってはメーカーとユーザーの間で、苦しい商売環境が続いている。

平鋼

- ① 6月に荷動きが悪かった反動か、建築、土木によりやく動きが出てきたためか、先月に比べてやや荷動きが増えた。まだ市況は在庫意欲も無く、価格を押し上げるほどの需要も出ていないが、周辺的环境は良くなりつつある。今後、建築、土木の関係の需要に期待したい。

鋼管

- ① 7月の売上は前月比、前年比とも良くなった。この調子で行くと秋需への期待もできる。
- ② 荷動きはやや回復するも、値上げ環境が整わず、厳しい状況は続いている。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品およびトラック関連などは紐付きを含め比較的堅調な動きとなっている。建設機械関連については、足下堅調でも、秋口以降に生産レベルが下降する事も予想される。店売りについては、引き続き低位横這い状況が続いており、秋口以降の見通しも不透明感がある。市況については、価格上げのアナウンスを始めており、旧盆明けから9月に掛けて本格的な唱え上げになると思われる。
- ② 鉄鋼メーカー各社が値上げを実施しているものの、荷動きが芳しくなく、市況としては、値上げのムードに欠けている。トヨタ向けの値上げが決定し、その後、建機、産機メーカーの決着内容が、大きく市況に影響しそうである。

その他

<曲げ加工>

- ① 今月は、前月よりまとまった受注が無く、細かいものが多く、加工売上が減少した。相変わらず市場は低迷しており、不況である。土木、建築では丸まった物より箱物が多いように感じる。したがって、曲げ加工も少ない。現段階においては、その時その時の加工でなかなか厳しい状況だ。もっと鉄鋼市場が動いてもらいたい。

<スクラップ>

- ① 7月は相場に動きが無く、一般的に発生薄であったものの、増加した発生工場もあり、6月比では増加の傾向にあった。

<金属表面処理加工>

- ① 7月は物件物、紐付き材とも計画通り。スポットは6月に比べて、引合い、受注とも活発に推移し、予定数量より大幅増となった。8月は、稼働日数が少なくなるが、物件物等が高位安定および7月同様引き合いも活発であることから高位安定を予定。